

旧麻布保育園用地の一時利用について

旧麻布保育園用地（以下「本用地」といいます。）については、現在、本格活用に向け検討を行っていますが、整備計画の策定や、建物設計作業に加え、埋蔵文化財の発掘調査など、今後約4年間を要するため、建物工事着工までの間、地域のオープンスペースを整備するなど、一時利用を図ります。

1 本用地の概要等

(1) 概要

所在地	港区元麻布三丁目9番11号
敷地面積	1,717.55㎡
用途地域	第一種住居地域及び第一種中高層住居専用地域

(2) 位置



(3) 経緯

昭和39年11月	旧麻布保育園及び旧麻布福祉会館建物竣工
平成16年11月	旧麻布保育園、鳥居坂グラウンドへ仮移転
平成17年4月	旧麻布いきいきプラザ、敷地内へ仮移転
平成26年11月	旧麻布保育園、麻布地区総合支所隣地へ移転

2 一時利用の内容

(1) 内容

ア オープンスペース（250㎡～460㎡）

地域の要望に基づく交流の場の確保や、多くの子どもが本用地周辺の児童遊園などを利用している状況を踏まえ、子どもたちが遊べる場所を補完するため整備します。

なお、埋蔵文化財発掘調査を終えた時点で、当初の250㎡から460㎡に拡張整備し、利便性を向上させます。

イ 自転車シェアリングポート（15台）

現在、本用地内に設置されており、引き続き需要が見込まれるため利用を継続します。

ウ 民間事業者への土地の貸付（時間貸し駐車場10台）

周辺での道路工事や建物工事業者からの時間貸し駐車場の需要が高く、地下に建物のコンクリート躯体が残っている状況においても、取り壊すことなく利用が可能であることから、埋蔵文化財発掘調査終了後、民間の駐車場事業者に土地を貸し付けます。

なお、収入見込みは、年間600万円程度を見込んでいます。

(2) 一時利用に当たっての近隣への配慮事項

本用地は、住宅を取り囲む敷地形状であり、これまでも地盤改良工事や建物解体工事において、近隣住民から意見があったことを考慮し、騒音や振動に対する影響に配慮しながら一時利用を図ります。

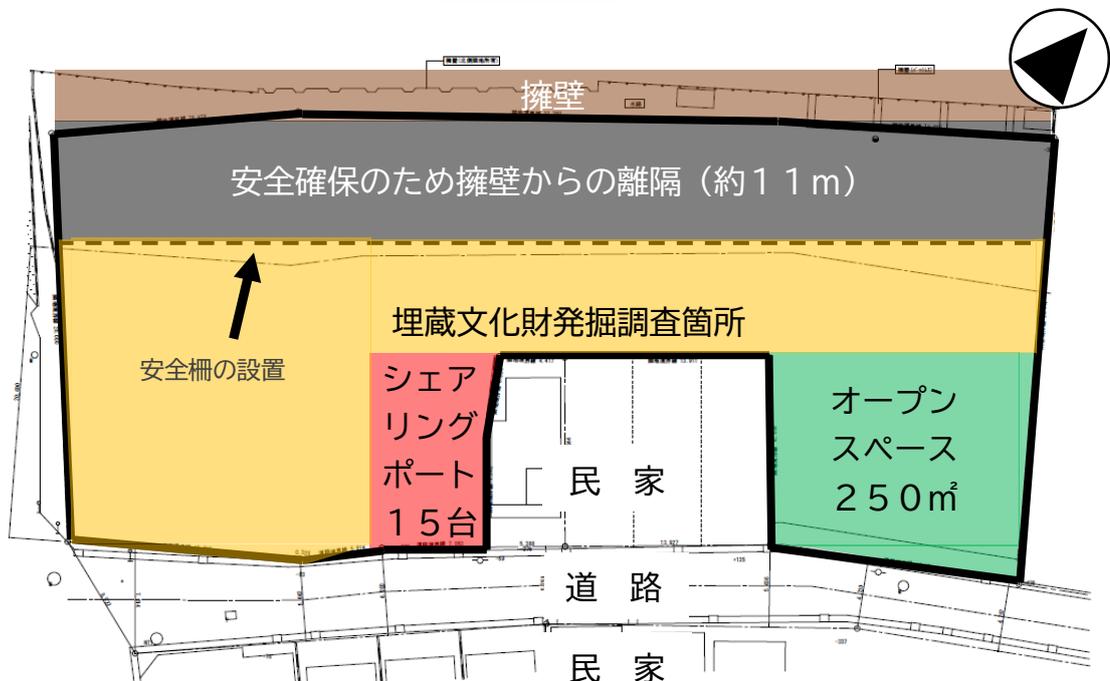
3 一時利用の期間及びイメージ図

(1) 第1段階（令和6年10月から埋蔵文化財発掘調査終了まで）

イメージ図(No Scale)

敷地範囲

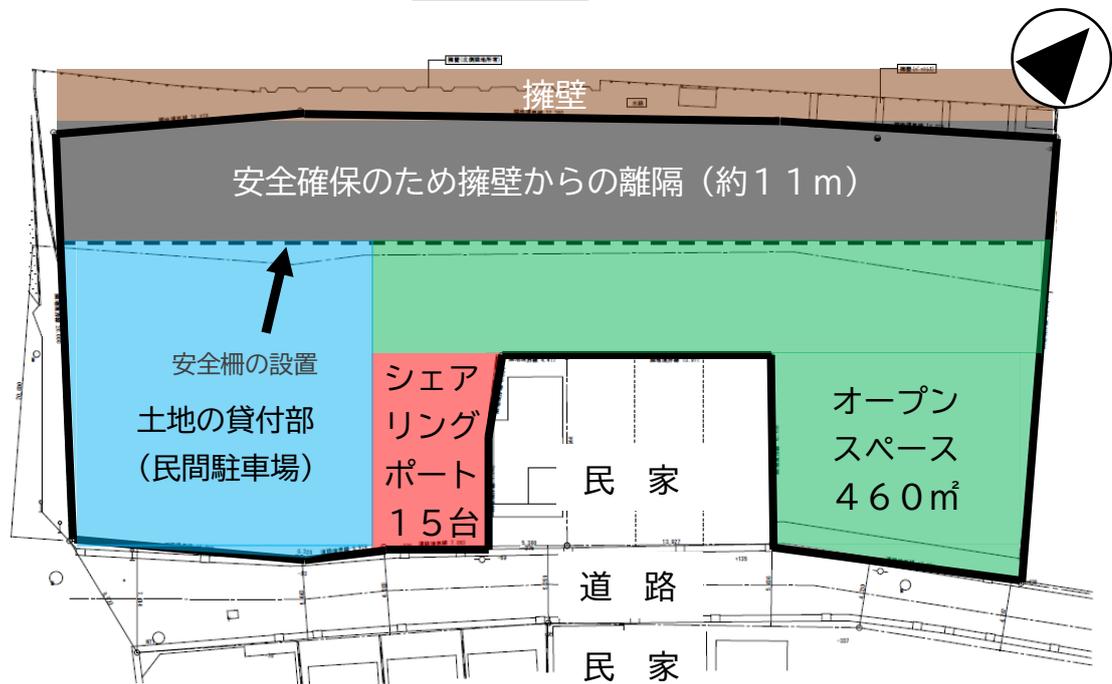
(面積：1,717.55㎡)



(2) 第2段階（埋蔵文化財発掘調査終了から令和10年3月まで）

イメージ図(No Scale)

敷地範囲 (面積：1,717.55 m²)



4 今後のスケジュール (予定)

令和 6年 7月～	地域住民への周知
10月～	一時利用の開始
令和10年 3月	一時利用の終了
4月～	建物工事の着工